

JSSF について

1. 『Japan Super Science Fair』とは

立命館高等学校が主催する国内最大級の国際科学研究フェア。毎年、世界約 21 カ国・地域の海外理数教育重点高校や国内スーパーサイエンスハイスクールを中心に、優れた理数教育を実践している高等学校の生徒約 250 名が集い、5 日間さまざまな企画を通して交流を行う。

参加生徒たちが、①科学で世界に貢献するという使命感をもつこと、②将来の国際社会で活躍する科学者・技術者への夢を膨らませること、③将来への国際的ネットワークの基礎を構築すること、参加校においては、相互の連携を強め、各校の科学教育の発展に寄与することを目的として 2003 年にスタート。今年で 13 回目。

2. 開催に至る経緯

本校は、2002 年度より文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受け、スーパーサイエンス (SS) コースの生徒を中心に、新しい科学教育に取り組んでいる。最大の特徴は、探求型学習スタイルを教育の重要な柱とし、全員に課題研究 (SSH 活動の中心となる学習。自ら課題を設定して研究を行い、解決に取り組む。生徒たちは全員最終的に卒業研究としてレポートを作成する) を課している点である。

2003 年、国際化を促進するために海外校との課題研究の成果を発表する交流会を計画していたところ、オーストラリアの学校の参加を得て、第 1 回目の開催となった。初年度は、海外校 1 校 (生徒 8 名)、国内校 2 校だけの小さな企画としてのスタートであったが、以降、その趣旨に賛同した海外のトップ科学学校からの参加が毎年増えて現在の規模に至る。

3. 『Japan Super Science Fair』の特徴

- (1) 毎年、海外 30 校程度が参加。ほとんどが各国、地域のトップの科学高校^{※2}。今年も五大陸すべてから高校生が集まる。
- (2) 研究発表はコンペティションでなく、科学交流を目的にしている。将来に向けて意識を高め、ネットワークを築くことが目的であり、研究内容に優劣はつけない。
- (3) 使用言語はすべて英語。期間中、海外参加者のアテンドは本校生徒が行う。
- (4) 企画・運営は本校の生徒が実行員会を組織して中心に行う。
- (5) 大学教員やグローバル企業の協力を得て、最先端の科学技術に触れることができる。
- (6) 参加教員全員で生徒全員を教育しようという意識を共有し、教員間の強いネットワークを築いている。
- (7) 開催後も生徒同士の交流は続いている。

※2 参加校 Korea Science Academy of KAIST (韓国) / Mahidol Wittayanusorn School (タイ) / NUS High School of Mathematics and Science (シンガポール) / Illinois Mathematics and Science Academy (USA) など